

政策番号	7	政策分野	スポーツ
------	---	------	------

基本方針	「だれもが、いつでも、どこでも、いろんなかたちでスポーツやレクリエーションに親しめる環境を、みんなで支え合うまちづくり」を関係団体（地域のスポーツボランティア団体、競技団体、学校、企業など）や指定管理者と行政が一体となって進める。そのことにより、市民ひとりひとりがスポーツやレクリエーションそのものを楽しむことはもちろん、健康や感動など市民生活に豊かさをもたらすとともに、環境、教育、観光、経済などさまざまな分野の京都のまちづくりをより魅力あるものにする。
------	--

担当局	文化市民局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画
---------------------	---------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		23年度 評価値	32年度 目標値	28 年度	29 年度	30年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	週1回以上運動やスポーツをする市民の割合(%)	48.4	65%以上	b	b	54.6	47.1	60.0	78.5%	c
2	市内で直接スポーツを観戦した市民の割合(%)	24.4	50%以上	a	b	33.9	34.0	42.3	80.4%	b
3	スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合(%)	3.1	10%以上	e	c	5.9	6.3	7.9	79.7%	d
				c	b					c

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	28年度	29年度	30年度
0701	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり(「するスポーツ」)(1指標)	b	b	b
0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり(「みるスポーツ」)(1指標)	a	a	a
0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり(「支えるスポーツ」)(1指標)	a	b	b
(3施策平均)		a	a	a

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)	27年度	28年度	29年度
	b	a	b

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		28年度	29年度	30年度
1	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。	c	c	c
2	プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。	d	d	d
3	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひが増えている。	c	c	c
政策の市民生活実感調査総合評価		c	c	c

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

28年度		29年度		30年度	
順位	%	順位	%	順位	%
27	63.5%	27	65.3%	27	67.8%

3 総合評価

C	政策の目的がそこそこ達成されている		
【客観指標総合評価】 ☒ b 評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。		29年度	B
【市民生活実感調査総合評価】 ☐ b 評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・スポーツを身近に触れていただけるような機会の提供や周知が十分とは言えないことから、市民の実感としては昨年度に引き続きc評価となった。		28年度	C
【総括】 ・客観指標評価の「週1回以上運動やスポーツをする市民の割合」及び「スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合」における目標値に対する達成率が低かったため評価が下がり、市民生活実感評価も、昨年度に引き続きc評価となったため、総合評価がB評価からC評価となった。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		28	29	30
0701	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり(「するスポーツ」)	C	C	C
0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり(「みるスポーツ」)	C	C	C
0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり(「支えるスポーツ」)	B	C	C

<今後の方向性>

- ①それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり
 ・それぞれの年齢や個性、環境に応じて、スポーツやレクリエーションを楽しむための施設の効果的・効率的な整備・運営に引き続き取り組むとともに、誰もがスポーツやレクリエーションを楽しむための機会の充実を図る。
- ②トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり
 ・プロスポーツはもとより様々なスポーツに身近に触れるための環境整備や、国際的又は全国規模のスポーツイベントの開催及び誘致促進、競技スポーツの支援などに取り組む。
- ③多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり
 ・相互に多様なスポーツ活動を支え合う仕組みづくりを促進するため、誰もが相互に利用しやすい施設の提供、市民スポーツを支える支援やボランティア活動の促進などに取り組む。

政策名	7	スポーツ					
指標名	週1回以上運動やスポーツをする市民の割合（％）						
担当部室	市民スポーツ振興室	連絡先	3 6 6 - 0 1 6 8				
1 指標の説明							
週1回以上運動やスポーツをする市民の割合							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
「するスポーツ」をいろんな形で楽しめる環境が作られていることを示す指標		算出方法：18歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間に週1回以上運動やスポーツをしたことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ					
4 数値							
10年後(平成32年度)の目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠				
	48.4	65%以上	京都市市民スポーツ振興計画				
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度	
数値	54.6	47.1	7.5%減	60.0	22年度現況値(48.4%)と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等差的に算出	78.5%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果			
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、目標達成以上をa，以下を20%刻みで基準を設定した。		282930 b b c			

指標名	市内で直接スポーツを観戦した市民の割合（％）						
担当部室	市民スポーツ振興室	連絡先	3 6 6 - 0 1 6 8				
1 指標の説明							
市内で直接スポーツを観戦した市民の割合							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
トップレベルのスポーツをはじめ様々なスポーツイベントに身近に触れられ、「みるスポーツ」をいろんな形で楽しめる環境が作られていることを示す指標		算出方法：18歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間に市内で直接スポーツを観戦したことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ					
4 数値							
10年後(平成32年度)の目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠				
	24.4	50%以上	京都市市民スポーツ振興計画				
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度	
数値	33.9	34.0	0.1%増	42.3	22年度現況値(24.4%)と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等差的に算出	80.4%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果			
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、目標達成以上をa，以下を20%刻みで基準を設定した。		282930 a b b			

政策名	7	スポーツ				
指標名	スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合（％）					
担当部室	市民スポーツ振興室	連絡先	3 6 6 - 0 1 6 9			
1 指標の説明						
スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
市民の間で多様なスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標(支えるスポーツ)		算出方法：18歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間にスポーツ活動に運営ボランティアとして参加したことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ				
4 数値						
10年後(平成32年度)の目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠			
	3.1	10%以上	京都市市民スポーツ振興計画			
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	5.9	6.3	0.4%増	7.9	22年度現況値(3.1%)と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等差的に算出	79.7%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a:100%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満		当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。		28 29 30		
				e c d		